

がん対策の推進について

平成23年度予算 343億円(平成22年度予算額 316億円)

基本的な考え方

○ 平成19年4月に施行された「がん対策基本法」及び同年6月に策定された「がん対策推進基本計画」の個別目標の進捗状況を、質・量の両面から把握・評価しつつ、総合的かつ計画的に対策を推進する。

1. 放射線療法及び化学療法の推進並びにこれらを専門的に行う医師等の育成

36億円(43億円)

- (1)がん専門医等がん医療専門スタッフの育成
 - 改 ・がん医療に携わる医療従事者の計画的育成
 - 1. 1億円(7. 6億円)
 - 0. 8億円(2. 0億円)
- 改 (2)がん診療連携拠点病院の機能強化
 - 34. 3億円(34. 3億円)
- (3)国際共同治験及び新薬の早期承認等の推進
 - 0. 8億円(0. 9億円)

2. 治療の初期段階からの緩和ケアの実施

4億円(6億円)

- (1)緩和ケアの質の向上及び医療用麻薬の適正使用の推進
 - ・インターネットを活用した専門医の育成
 - 3. 6億円(5. 2億円)
 - ・がん医療に携わる医師に対する緩和ケア研修
 - ・医療用麻薬適正使用の推進
- (2)在宅緩和ケア対策の推進
 - ・訪問看護推進事業
 - 0. 3億円(1. 0億円)

3. がん登録の推進とがん医療に関する相談支援及び情報提供体制の整備

9億円(7億円)

- ・院内がん登録の推進及び地域がん登録の促進 ※1
- ・がん登録の実施に関する調査・精度管理、指導の実施 ※1
- 新規 改 ・がん総合相談に携わる者に対する研修プログラム策定事業
 - 0. 5億円(ー億円)
- 改 ・都道府県がん対策推進事業(緩和ケア研修を除く)
 - 8. 2億円(6. 8億円)

4. がん予防・早期発見の推進とがん医療水準均てん化の促進

139億円(111億円)

- (1)がん予防の推進と普及啓発
 - 17. 8億円(22. 1億円)
- (参考)【平成22年度補正予算】
 - ・子宮頸がん等のワクチン接種の促進
 - 1, 085億円
 - (うち子宮頸がん予防ワクチンの接種に要する経費)
 - 345. 6億円)
- (2)がんの早期発見と質の高いがん検診の普及
 - 120. 3億円(84. 0億円)
- 新規 改 ・働く世代への大腸がん検診推進事業 (特)
 - 40. 8億円(ー億円)
- 改 ・女性特有のがん検診推進事業
 - 72. 2億円(75. 7億円)
- 新規 改 ・がん検診受診率分析委託事業
 - 0. 6億円(ー億円)
- (3)がん医療水準均てん化の促進
 - 0. 8億円(4. 6億円)

5. がんに関する研究の推進

68億円(61億円)

- がんによる死亡者の減少、すべてのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上を実現するためのがん対策に資する研究を着実に推進する。
 - ・第3次対がん総合戦略研究経費
 - 46. 3億円(58. 1億円)
 - 新規 改 ・日本発のがんワクチン療法による革新的がん治療の開発研究事業等 (特)
 - 16. 0億円(ー億円)

6. 独立行政法人国立がん研究センター

87億円(88億円)

- がん医療に関する研究・開発、医療の提供、医療従事者の研修等を行うことにより、がんに関する高度かつ専門的な医療の向上を図る。
 - ・独立行政法人国立がん研究センター運営費交付金
 - 87. 6億円(88. 0億円)
 - (うち、元気な日本復活特別枠 14. 8億円(特) ※2)

(特) 「元気な日本復活特別枠」事業

※1 当該事業については、独立行政法人国立がん研究センター運営費交付金において実施

※2 うち、2億円は日本発のがんワクチン療法による革新的がん治療開発戦略事業と重複計上